第 175 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録（案）
日時：2005 年 1 月 28 日　10:00-12:00
場所：中部電力（株）　東桜会館　会議室

出席者（順不同、敬称略）：
委員長：岡本（電中研）
委員：水谷（名大）、鈴置（名大）、武藤（三菱電機）、小山（東芝）、東村（日立）、穂積（豊橋技科大、兼長尾委員代理）、山之内（日新電機）、後藤（コンサルタント）
幹事：内田（中部電力）、宮下（三菱電線）
幹事補：西川（芝工大）
オブザーバ：高橋（電中研）

資料：
１７５－１　環境対応材料の電気機器への応用調査専門委員会議事録（第１～3 回）
１７５－２　ポリマーがいし材料表面の放電特性評価と劣化現象調査専門委員会議事録（第 11 回）
１７５－３　ポリマーがいし材料表面の放電特性評価と劣化現象調査専門委員会解散報告書
１７５－４　調査専門委員会フォローシート（2004 年度）
１７５－５　調査専門委員会フォローシート（2005 年度計画）
１７５－６　平成 16 年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定案（１１次案,20050128）
１７５－７　平成 17 年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定案（２次案,20050128）
１７５－８　A 部門編集委員からの依頼文書（平成 17 年度編集委員会新規委員候補推薦依頼、共通英文誌論文テーマ、Editorial Advisory Board 外国人推薦、外国人査読者氏名について）
１７５－９　ISEIM2005 プロシーディングス印刷の件
１７５－１０　ISEIM2005 投稿済み論文リスト（2005.1.27 現在）
１７５－１１　ISEIM2005 アジアセッション原稿受領状況

議事：
１．前回議事録について
西川幹事補が読み上げ、承認された。

２．資料１７５－１について

環境対応材料の電気機器への応用調査専門委員会議事録（第１～3 回）である。鈴置委員より、新委員会の概要紹介、IEC との連携の可能性について等の報告があった。

３．資料１７５－２について

ポリマーがいし材料表面の放電特性評価と劣化現象調査専門委員会議事録(第１１回)である。後藤委員より IEC 規格に関するタスクフォースの発足、共同実験などに関する報告がなされた。

４．資料１７５－３について

ポリマーがいし材料表面の放電特性評価と劣化現象調査専門委員会解散報告書である。後藤委員より報告がなされ、承認された。10 月までの報告書完成と同時に、新規委員会の設置を検討中であるとの報告があった。「環境」というキーワードを入れていただきたいとの要望があった。

５．資料１７５－４、５について

調査専門委員会フォローシート（2004,2005 年度）である。宮下幹事より説明がなされた。

- 2004 年度環境対応材料関連の研究会を来年度開催に変更。
- 2005 年 6 月新規委員会(イオンマイグレーションの発生特性と防止方法)の設置が承認。
- 情報通信のための誘電絶縁材料調査専門委員会による ISEIM2005 特別セッション(2005/6)、A 部門大会シンポジウム（2005/8）開催。
- 新規調査専門委員会（ポリマーがいし関連）2005.10-2007.9
- インバータサージ関連の新規調査専門委員会は、大学からの委員が少ない、会社はデータが出せないなどの問題があり、立ち上げは難しい。

などの報告および議論があった。

６．資料１７５－６について

平成 16 年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定案(１１次案)である。宮下幹事より説明があった。環境対応材料は来年度へ延期することとした。

７．資料１７５－７について

平成 17 年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定案(２次案)である。宮下幹事より説明があった。毎年 12 月、1 月に集中傾向があるので、これを緩和したいという提案に対して、

- 集中を緩和するのであれば、3 日間程度のシンポジウムを開催し合同研究会とする。シンポジウムの収支への影響を防ぐために、シンポジウムでは研究発表をなくし、講演会のみ有料すればよい。

・ 研究会よりもシンポジウムでの発表が格が上であるという見方もあり、シンポジウムでの発表をなくすのは問題があるのではないか
・ シンポジウムでは、exhibition や産学交流セッションなどを開催してはどうか、
・ 3 月の国際会議報告は、現在、国際会議情報の収集は容易であることから、複数の委員から廃止論がある
・ 幹事団で国際会議プログラムの調査を行い、まとめてホームページに掲載するという方法もある

などの提案および議論があった。今後、シンポジウムおよび研究会の位置づけなどについて、幹事団で検討することとした。

８．資料１７５－８について

A 部門編集委員からの依頼文書（平成 17 年度編集委員会新規委員候補推薦依頼、共通英文誌論文テーマ、Editorial Advisory Board 外国人推薦、外国人査読者氏名について）である。岡本健二委員の後任委員の推薦を要請されている（1/31 締め切り）。これまで、1 号委員が担当してきたが、査読者に依頼可能な方である必要がある。議論の後、委員長に一任することとした。

９．資料１７５－９について

ISEIM2005 プロシーディングス印刷準備状況と今後のスケジュールについて、西川幹事補より報告がなされた。

１０．　資料１７５－１０について

ISEIM2005 投稿済み論文リスト（2005.1.27 現在）である。ISEIM2005 事務局の高橋氏より 47 件の原稿受領との報告があった。

１１．　資料１７５－１１について

ISEIM2005 アジアセッション原稿受領状況である。ISEIM2005 事務局の高橋氏より説明がなされた。

１２．　所属統合にともなう委員構成の変更の件

田中委員（古河電工）および高橋委員（フジクラ）の所属部門の統合に伴い、高橋委員の委員留任が承認された。

１３．　次回委員会開催日について

2005 年 3 月 18 日　11:00-12:00、徳島大学（電気学会全国大会会場）にて開催。

以上。